

【令和4年5月18日第76回対策本部会議決定事項（「大阪モデルの見直しについて」）】

◆ ステージ移行については、指標の目安の到達状況を踏まえつつ、感染状況や医療提供体制の状況、感染拡大の契機も十分に考慮し、専門家の意見を聴取したうえで、対策本部会議で決定する。

【大阪モデルの状況】

◆ 7月27日に病床使用率が「非常事態（赤信号）」の目安に到達見込み。

	警戒の目安	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27
1. 直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	明らかな増加傾向	984.63	1100.39	1215.51	1290.78	1323.97	1559.28	
2. 病床使用率	50%以上	41.4%	43.6%	44.8%	47.0%	48.1%	49.6%	約52% (速報値)
3. 重症病床使用率	40%以上	4.0%	3.9%	4.7%	4.7%	5.2%	6.6%	
信号	1 かつ 2または3の目安に達した場合 赤							

○新規陽性者数は7月20日以降、2万人規模で推移（26日に過去最多25,762人）。

○BA.5系統への置き換わりが進み（変異株スクリーニング検査におけるBA.5系統又はBA.4系統の疑いのある株の検出率 7/18～7/24 約82.5%）、

夏休みなど感染機会の増加による影響等から、当面、極めて大規模な感染が続くと考えられる。

○大規模な感染の継続に伴い、検査体制や保健・医療療養体制への負荷が急速に増大しており、ひっ迫が見られる。

⇒現在の感染拡大状況等を踏まえ、本日、病床使用率の目安に到達することが見込まれることから、

「警戒（黄信号）」から「非常事態（赤信号）」に移行する。（適用日：7月27日）